

# 臨床研修医募集定員の決定方法に関する説明会

## 次 第

〔 日 時：令和5年1月26日（木）  
14時00分～15時00分  
場 所：Microsoft Teams 〕

○ 開 会

○ 進 行

1 臨床研修医募集定員の決定方法について

2 質疑応答

○ 閉 会

# 臨床研修医募集定員の決定方法について

【令和6年度に研修を開始する研修医から適用】

## □ 厚労省からの通知事項

### 【大阪府の上限数設定】

#### ・ 上限数の削減

R5年度から研修を開始する研修医の大阪府内病院の募集定員合計：638人  
⇒ R6年度から研修を開始する研修医の大阪府内病院の募集定員上限：637人《▲1人》

#### ・ 都道府県調整枠

- ・ 府は、国が設定した上限の範囲内で、医師少数区域等における医師の数の状況、各病院の研修医の受入実績、その他地域の実情等を勘案して、大阪府医療対策協議会の意見を踏まえ、病院ごとの定員の算定方法をあらかじめ定め、当該定員を設定。
- ・ 府は、病院ごとの定員を定めるにあたっては、あらかじめ厚生労働大臣に研修医の募集定員のほか、当該定員の算定方法を通知しなければならない。（医師法第16条の3第5項）

### 【各都道府県募集定員の上限算出方法の見直し】

#### ・ 募集定員の倍率

1.07倍 ⇒ 1.06倍

#### ・ 上限の算出方法

R6研修希望者数× **1.06**

+ R5年度研修開始分向けに都道府県が配りきれなかった上限と募集定員との差× **1/5**

# □ 臨床研修定員上限の内訳

募集定員配分可能数 = ( A ) + ( B )

A : 臨床研修部会にて了承された配分可能数 ( 637 )

B : 都道府県でAを配分した結果、やむを得ず一病院あたりの定員配布数が1となる場合、当該病院の募集定員数を2に増加するための加算分 (ただし、地域医療対策協議会において了承を得たものに限る。)

参考：Aの内訳

項目	配分内容	R5開始分	R6開始分
①基本となる数	人口又は医学部入学定員に応じた配分	591	620
②地域枠	奨学金貸与者数に基づく配分	16	15
③地理的条件等による加算	面積あたり医師数、離島人口、医師偏在状況等に応じた配分	6	2
	うち、医師少数区域の人口によって加算された配分	0	0
④激変緩和	前年度の採用保障のための調整	0	0
	①～③の合計が前年度実績を下回った都道府県に対し、前年度採用実績を確保するための増減	12	0
合計		621	637

# □大阪府ベース値の考え方

## 【算定の考え方】

- ① 大阪府の上限値のうち『大阪府の基本となる数』（492）
- ② 上記①を『各病院が希望できる定員（※1）』で按分  
（※1）過去3年間の研修医受入実績最大値（他病院で中断をした再開者の受け入れ実績を含まない。）+ 医師派遣加算
- ③ 上記②と『各病院が希望する定員』を比較して少ない方を選定
- ④ 大阪府激変緩和措置を考慮して大阪府ベース値を算定

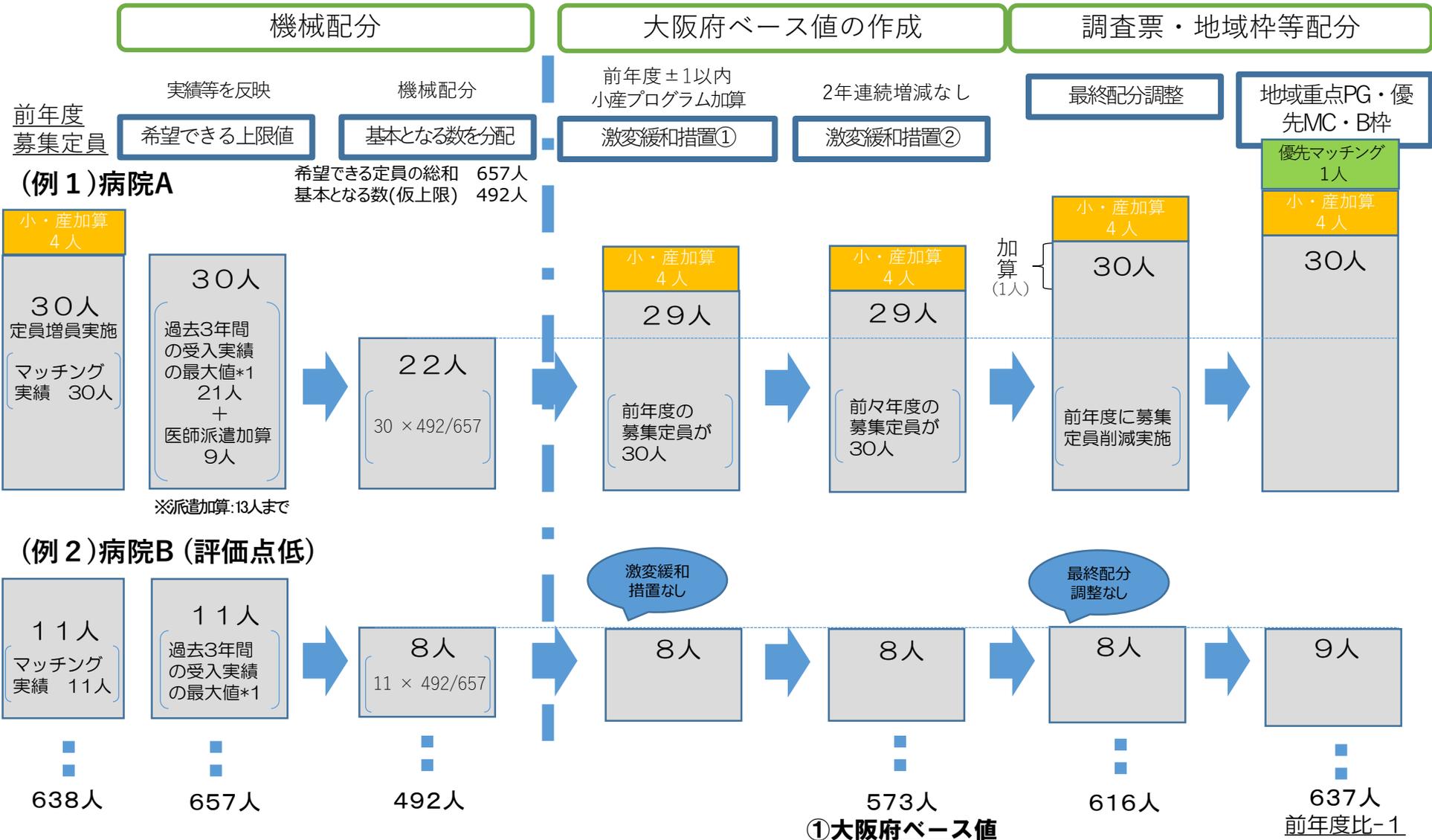
## 【留意点】

大阪府が上記②③で配分した結果、やむを得ず一病院当たりの配布数が1となる場合、当該病院の募集定員を2に増加するための加算について  
⇒別途大阪府医療対策協議会で協議して加算する。  
（大阪府医療対策協議会において了承されたものだけに限り加算する。）

※受入実績

・R3研修開始分、R4研修開始分及びR5研修開始分の1次マッチング結果を用いる。

# 各研修病院の募集定員設定方法（イメージ）



【大阪府激変緩和措置】 前年度募集定員からの原則、増減は±1人以内とする。

2年連続の増減はしない。

大阪府の上限数が前年度より増加する場合は、前年度マッチング実績を保障

【最終配分調整】 調整方法：大阪府医療対策協議会における協議（マッチング実績・指導体制・研修環境などを評価）をふまえ、調整を実施。

※1 大阪府医療対策協議会の協議や病院との個別協議が別途ある場合は個別に定めることがある。

※2 激変緩和措置は大阪府医療対策協議会における協議により適用しないことがある。

# □地域医療重点プログラム・優先マッチング

比較項目	地域医療重点プログラム	大阪府優先マッチング (2019年度入学生まで)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療研修（通常1カ月）を3か月実施</li> <li>・一般のマッチングに先行して、選考が可能（0次マッチング）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新キャリア形成プログラムに移行（診療科縛りあり）</li> <li>・通常のマッチングにより選考</li> </ul>
定員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員数は臨床研修期間中に従事要件等が課されている者の2割以内 (例 地域枠等15名の場合、上限3名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各病院の一般枠定員の2割以内</li> </ul>
研修先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型臨床研修病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこでも可</li> </ul>

## 【留意点】

- ・地域枠学生等と臨床研修病院は1次マッチング開始前に面接等を実施できる
- ・面接等の結果を踏まえて府に申請のあった臨床研修病院に募集定員を定数化して加算する
- ・原則、2月28日までに優先的な受け入れを調整できた分を当該病院に対し別枠で定数化する。

# □ 最終配分調整による募集定員の重みづけ

大阪府医療対策協議会の意見を踏まえて最終配分調整を行う。  
より良い研修環境を整える病院に募集定員を配分できるよう重みづけを行う。

## 【激変緩和措置の適用に関する考え方】

府の調査票により一定の評価に満たない研修病院は、激変緩和措置（定員を回復させる補正措置）を原則適用しない。

## 【最終配分調整に関する考え方】

府の調査票により一定の評価を満たす研修病院は、募集定員を2枠配分する場合がある。

## 【R6研修開始分～調査票の主な変更点（医療対策協議会での協議結果）】

新型コロナウイルス感染症への対応に係る項目の考え方を変更

## 【留意点】

来年度以降、「各病院の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組」に係る項目の追加を検討予定

# □ 調査票項目について

## 【調査票（R5.1.20大阪府医療対策協議会協議結果）】

調査項目	調査内容	考え方	1次 審査	2次 審査
必須事項	過去3年のマッチ状況	2年以上フルマッチしていること（必須）	/	
	新型コロナウイルス感染症への対応	要請に応じて1床以上確保していること		
	医師の働き方改革	研修医の勤務実態把握ができていること（必須）		
	病床の再編・統合・転換等	病院の再編統合時における過剰病床への転換を進めていない（必須）		
マッチング	前年度希望順位登録者数	募集定員の3倍以上	○	
指導体制	指導医数（必須科目及び選択必須科目毎）	小児科・産婦人科・救急部門の複数配置	○	
	一般外来研修内容・日数	記載内容評価・研修日数が30日以上	○	
	地域医療等への誘導に向け工夫・配慮している点	記載内容評価		○
	分娩研修	施設当たり350件又は研修医1人当たり10件以上（実績を示せるものに限る）	○	
	医療安全に関する研修	記載内容評価		○
	研修の進捗状況の管理方法	EPOC・研修医手帳と独自の評価方法の組合せ	○	
	評価の方法（評価体制（職種）・方法）	多職種（看護師含む複数）、外部及びその他（患者含む）の評価を実施	○	
研修環境	第三者評価（卒後臨床研修評価機構）	卒後臨床研修評価機構の認定	○	
	その他の臨床研修に係る第三者評価の認定状況	日本医療機能評価機構などの認定		○
	卒後臨床研修評価試験の受験	1年次及び2年次の受験	○	
	学会発表件数（地方会以上）	年1件/人以上	○	
	CPC研修内容・剖検症例件数	記載内容評価・年1件/人以上		○
自由記載	アピールポイント	記載内容評価		○
その他	新型コロナウイルス感染症への対応	夜間休日における受入体制を確保していることかつ重症病床7床以上または重症軽症中等症合わせた最大運用病床数が、許可病床数（一般）の10.2%以上の病床を確保していること	○	
地域偏在	医師不足地域・高齢化率	北河内・中河内・南河内・堺市・泉州	○	

## □ 今後のスケジュール予定

- 12/23 地域枠学生意向調査締め切り、地域重点・優先マッチング調整開始
- 1/26 大阪府による『臨床研修医募集定員の決定方法に関する説明会』
- 1/24 大阪府による募集定員の仮配分
- 2/6 調査票の提出締め切り【厳守】
- 2/下旬 優先マッチング等調整終了
- 3/中旬 大阪府医療対策協議会（最終配分調整）
- 3月末 定員調整結果の通知大阪府 ⇒ 増減員を希望した病院へ
- 4/15 調整後の各病院定員の通知（大阪府 ⇒ 厚労省）
- ～4/30 調整後の各病院定員の通知（大阪府 ⇒ 臨床研修病院）

# 臨床研修プログラム等調査票(R6研修開始分)

調査票1

大阪府健康医療部長 様

病院名

代表者名

担当者	所属	
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
回答日		令和5年2月6日(月)

臨床研修医募集定員の最終配分調整に向けた増減員の希望について、該当する番号に○を付け、必要事項を記載してください。

1.	最終配分調整に向けて、増減員を希望しません。 なお、令和5年1月24日付け医対第2801号で情報提供のあった、大阪府基礎数により追加配分される定員については、同意します。 (大阪府基礎数＝令和6年度から研修を開始する研修医の募集定員となる予定です。)
----	---

2.	最終配分調整に向けて、増員を希望します。		
	大阪府から情報提供された募集定員(案)①		人
	上記①に対して希望する増員数		人

3.	最終配分調整に向けて、減員を希望します。		
	大阪府から情報提供された募集定員(案)①		人
	上記①に対して希望する減員数		人

4.	病院間で調整し、募集定員の増減について合意しましたので、合意内容に基づく定員調整を希望します。 病院間で合意した内容(合意した病院名、人数)を記載してください。

(病院間で合意した内容について、改めて詳細をお伺いします。)

⇒増員を希望する病院は、引き続き、調査票2も回答してください。

**A. 指導体制**

令和4年度修了予定者の臨床研修プログラムについて記載してください。

調査票2

① 臨床研修プログラムに関わる指導医数等を記載してください。(令和5年1月24日現在)

(1) 臨床研修医の数  人 (1年次・2年次の合計)

(2) 臨床研修プログラムに関わる指導医の数

診療科	代表的な医療機関 (複数不可)	0人	内訳
内科			人
外科			人
救急部門			人
麻酔科			人
精神科			人
地域医療			人
産婦人科			人
小児科			人
その他			人

(留意点)

※本調査における『指導医』の定義

次のすべての要件を満たす者

- ・常勤の医師
- ・7年以上の臨床経験を有する者 (臨床経験には臨床研修を行った期間を含む)
- ・厚生労働省の開催指針に則った指導医講習会を受講している者

※原則、貴病院に所属する指導医数を記載してください。

例外：産婦人科、小児科及び精神科は主要な協力型臨床研修病院も可。  
地域医療は地域医療研修を実施する主要な協力施設も可。

②一般外来研修の実施状況について記載してください。

(1) 一般外来研修を行う診療科

(2) 一般外来研修の具体的な研修内容

※『上級医の立ち合いの下、診察等を実施』or『上級医の診察に立ち合い』については、必ず記載してください。

(3) 一般外来研修の実施日数

 日

※研修期間中 (2年間) に一人の臨床研修医が実施する平均の日数を記載してください。

※日数計算の根拠資料を添付してください。(計算式や研修カリキュラム表等)

※臨床研修医の勤務時間を基準に、一般外来研修の実施時間を日数に換算してください。

- (例) i 臨床研修医の1日の勤務時間：8時間  
 ii 一般外来研修を実施した時間：4時間  
 ⇒一般外来研修の実施日数 = 4時間(ii) / 8時間(i) = 0.5日

③臨床研修を実施するにあたって、地域医療・在宅医療への興味を誘導するために工夫しているプログラムの内容や配慮している点があれば、記載してください。

※本調査における『一般外来研修』の定義

診療科の名称を問わず、外来においてCommon diseasesの診断・治療技術を修得するための研修 (医師臨床研修指導ガイドラインにおける一般外来研修と同義にする)

特定の症候や疾病のみを診察する専門外来や、慢性疾患患者の継続診療を行わない救急外来、予防接種や健診・検診などの特定の診療のみを目的とした外来は含みません。  
 時間外 (宿日直帯) の小児科外来、救急外来当直研修も含みません。

④ 分娩件数

(1) 令和3年度の取扱分娩件数

	件
--	---

(2) 研修医1人当たり取扱分娩件数

	件
--	---

⑤ 医療の質と安全の管理（特段の取組をしていない場合は空白可）

(1) 医療安全に関する特筆すべき指導體制や具体的な取組内容

--

(2) 研修医1人当たりインシデント報告件数

	件
--	---

⑥ 臨床研修の進捗管理や評価の方法等について記載してください。（令和5年1月24日現在）

(1) 臨床研修の進捗管理の方法

（該当する番号全てに○を付けてください。その他を選択した場合は、具体的に記載してください。）

	1. EPOC2（EPOC）などのオンライン評価システムを利用して管理
	2. 研修医手帳を利用して管理
	3. その他

(2) 臨床研修医の評価者・評価の時期等（特段の取組をしていない項目は空白可）

（評価者として該当する番号全てに○を付けて、必要事項を記載してください。複数回答可）

	1. 指導医
	評価の時期
	評価の頻度
	2. 研修医
	評価の時期
	評価の頻度
	3. プログラム責任者、研修管理委員会
	評価の時期
	評価の頻度
	4. 評価の専門家（外部）
	評価者の職名
	評価の時期
	評価の頻度
	5. 医療スタッフ等
	評価者の職名
	評価の時期
	評価の頻度
	6. その他（患者等）
	評価者の概要
	評価の時期
	評価の頻度

※特定の研修医のみ評価を受けている方法は除く。

⑦指導医の資質向上に資する取り組みの実施について記載してください。

(1) 臨床研修医による指導医の評価の実施

(2) 上記のほか、指導医の資質向上に資する取組内容（特段の取組をしていない場合は空白可）

## B. 研修環境

病院の研修環境について、記載してください。

① 第三者評価の受審状況について記載してください。（令和5年1月24日現在）

(1) NPO法人卒後臨床研修評価機構臨床研修評価  
有を選択した場合には、最新の認定(更新)年月日

(2) 公益財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価  
有を選択した場合には、最新の認定(更新)年月日

(3) NPO法人日本医療教育プログラム推進機構基本的臨床能力評価試験  
有を選択した場合には、受験対象とする研修年次

② 令和4年度、学会での発表件数について記載してください。（筆頭発表者のみ）

(1) 貴院の臨床研修医が学会等で（症例等を）発表した件数

※開催未定のは予定で計上してください。

※学会等とは…全国的な学会や研究会、複数の都道府県にまたがる地方会とする。

定期的・継続的に開催されていないもの、私的なもの及び都道府県単位の地方会は含まない。

③ CPC研修内容・剖検症例件数について記載してください。

(1) CPC研修の具体的な研修内容（対象症例や研修医の担っている役割等）

(2) 貴院の臨床研修医がCPC等で剖検症例を発表した件数  
令和4年度（開催未定のは予定で計上してください。）

④ 令和6年度から令和7年度における臨床研修環境の今後の変化（予定を含む）を記載してください。

(1) 病院の再編統合の有無

(2) 過剰病床への転換の有無

**C. 労働時間管理**

① 臨床研修医の時間外労働時間の実態の的確な把握についてご記載ください。(令和5年1月24日現在)

- (1) 時間外労働の的確な把握の実施の有無  
有を選択した場合には、既存の36協定との齟齬の有無
- (2) 協力型臨床研修病院及び協力施設からの報告を受ける仕組み・連携の有無
- (3) 直近3年間における宿日直許可基準の取得又は許可申請の有無
- (4) 2024年度からの(C)-1水準の適用の有無  
(C)-1を適用する場合は研修医の労働時間短縮計画を提出する時期

**D. 新型コロナウイルス感染症対応**

① 新型コロナウイルス感染症への対応状況について、記載してください。(令和5年1月24日現在)

- (1) 休日夜間における受入体制の確保
- (2) 府の要請に対する病床の確保
  - ① 許可病床数
  - ② 重症病床のみを有する場合  重症の最大確保病床数
  - ③ 軽症中等症病床のみを有する場合  軽症中等症の最大確保病床数
  - ④ 重症病床と軽症中等症病床を有する場合  重症と軽症中等症合わせた最大運用病床数

※自由記載欄にも記入してください。

## E. その他

①これまでの質問以外に、貴病院の臨床研修プログラムの特徴やアピールポイントがあれば、自由に記載してください。

②来年度以降の研修に向けた取組事項があれば記載してください。

(例：感染対策等に関する研修（年2回）⇒府が共催して提供するオンライン講座に参加（年12回）

③前回設定した取組事項の達成状況について記載してください。

達成度【    %】